

# FLOWER PHOTO



## KYOBASHI EDOGRAND WORKSHOP

*Hydrangea 2016*

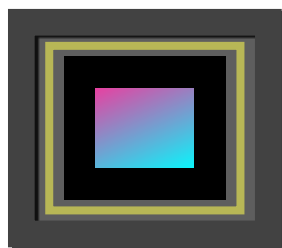
*Photo: Osamu Watanabe*

はこねフローリスト京橋エドグラン店では、7月23日、8月6、20日の3日間、「スマートフォンで撮るフラワーフォト・ワークショップ」を開催いたします。スマートフォンの「カメラ」と「アプリ」を使い、京橋エドグラン店内の花々を魅力的な写真にするテクニックを学びます。このワークショップで基礎的な写真技術を学び、「フラワーフォト」の楽しみ方を知っていただければ幸いです。





レンズシステム



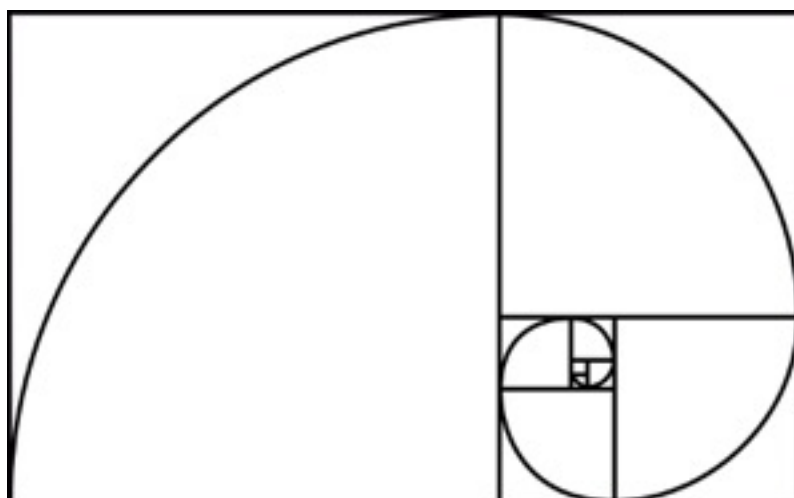
CMOSイメージセンサー



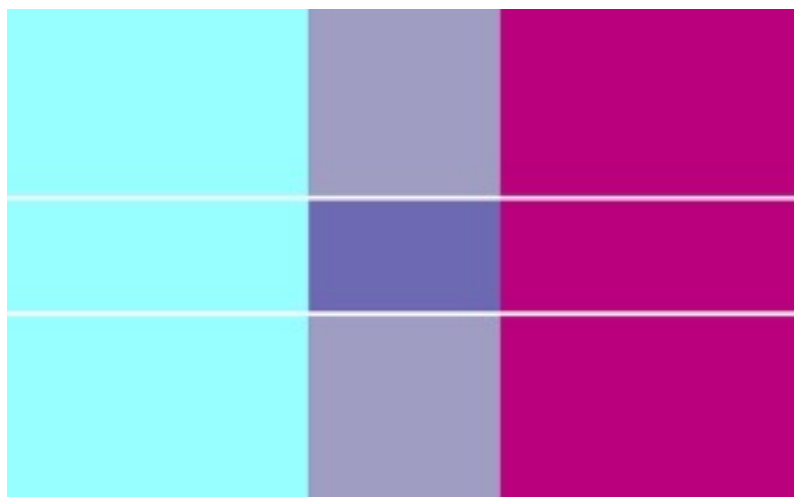
iOS カメラアプリ

## スマホカメラのしくみ

「スマホカメラ」は光を取り込みピント調節をする「レンズシステム」と光を感じて記録する「CMOSイメージセンサー」、撮影した写真を表示する為の「モニタ」、それらを制御する「アプリ」でシステムが構成されています。「スマホ」には機械的な「シャッター」はありません。代わりに「CMOSイメージセンサー」が電子的にシャッターの役割をしています。



黄金比率と螺旋スパイラル



三分割法

## 構図を考える

写真の構図には決まりはありませんが、絵画やデザインで利用されている「黄金比」と「三分割法」の二つをお覚えておくと役立ちます。

「黄金比」とは四角形の比率が約1:1.618の長方形のことをといい、古代ギリシャ時代の発見以来最も安定し美しい比率とされています。その黄金比率によってできる螺旋スパイラルを利用して、被写体の注目点を螺旋スパイラルの中心に来るように構図を決めます。写真を見る人は自然にここに注目するでしょう。「三分割法」は、黄金比率を応用し、三つに分割します。交差する部分にそれぞれ重要な要素を配置すると調和のとれたバランス良い絵作りができます。

## 縦横比を選ぶ

写真の代表的な「縦横比」には、正方形（1:1）、長方形（3:4）、パノラマがあります。それぞれの特徴を理解し目的にあった「縦横比」を選択しましょう。

インスタグラム投稿用には、正方形（1:1）が人気です。中心に被写体を写すことで、落ち着いた印象になります。基本縦横比の長方形（3:4）は黄金比や三分割法を意識して被写体の中心をどこに配置するかをを考えながら撮影すると良いでしょう。特徴的なパノラマはとても面白い写真になります。一枚の写真では収まらない広い範囲の被写体を撮ることができます。



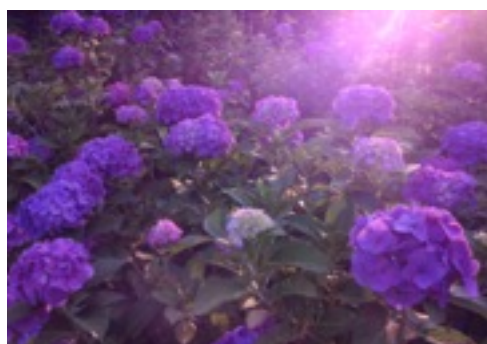
正方形（1:1）



パノラマ



青緑色



紫色

## 色と明るさを変える

日常には多くの光源がありますが、それらはみな違った色を発しています。スマホカメラはそれらの光源色を自然に感じられるよう自動補正します。

自動で補正してくれることを「オートホワイトバランス」といいますが、その機能を特定の「カメラアプリ」を操作して全体を青く冷たい感じにしたり、赤く温かみを感じる写真を好みの雰囲気のある色に変更することができます。

スマホカメラは明るさも自動調整してくれますが、アプリを操作して思い通りに明るくしたり暗くしたりすることができます。写真を明るくすると爽やかに感じ、暗くすると落ち着いた感じになります。

明るさ調整する前には、基準となるスマホモニタを見やすく明るさの再調整をしてください。明るい野外ではモニタ輝度を明るく、暗い室内ではモニタ輝度を暗く再調整すると良いでしょう。



## 光を感じる

光を感じてみましょう。透過する光、斜めから射す光、スポットライトの光、太陽の光、様々な光を感じて写し込みます。ただし、太陽光は肉眼では絶対に見ないでください。

## アングルを探す

スマホカメラはとても軽く小さいので、カメラ視線を自由に変えることができます。被写体を真上から見たり、下から見上げたり、真横から見たり自由に魅力的なアングルを探してみましょう。近づいたり離れたったりして、被写体の大きさを変化させて何枚も撮影すると思わぬ発見が必ず見つかります。

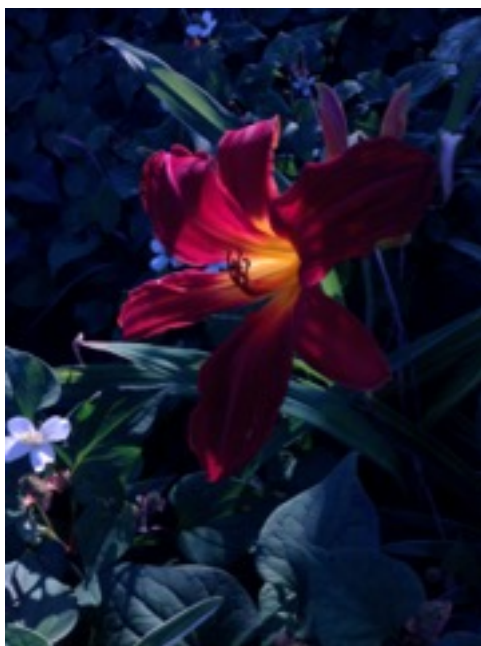


## レンズ、モニタは綺麗に

日々使うスマートフォンはとっても汚れています。モニタは指で操作をするので注意が必要です。カメラレンズも汚れていないかを注意してください。もし、レンズが汚れていたら専用のクロスで撮影前には清掃してください。モニタは油や傷が付いていると写真が見にくいので清掃しいつも綺麗にしてください。

## マナーを守って

店内や私有地での撮影は、ルールを守り周りの周囲の人やお店の方に許可を取って安全に撮影してください。特に人物が写る時は注意が必要です。見知らぬ人が写っている写真を勝手にSNSへ投稿してはいけません。法律違反になることがあります。



## スマホの構え

スマホは両手でしっかりと持ち、まっすぐに構えましょう。両手で構えると写真のブレが抑えられますし、スマホの落下防止になります。構図を考えながら少しずつ角度に変化をつけながら撮影します。

## オリジナリティを大切に

とにかく、良い写真が撮れるまで沢山写真を撮りましょう！小物を使ったり、位置を変えたり、構図を変えたりしてオリジナリティ溢れる写真を撮りましょう！ただし、集中して撮影しているとバッテリーが消耗していることがありますので、予備のバッテリーがあると安心です。



## 編集アプリで写真をおしゃれに

撮影した写真を画像編集アプリでおしゃれに加工してみましょう。落ち着いた感じ、華やかな感じ、アンティークな感じ、モノクロにしてレトロな感じへ・・・。写真をアーティストックに画像編集をして楽しみましょう。





## SNSへ投稿してみましよう

気に入った写真が出来上がったら、友達にシェアしませんか？きっと「いいね」がもらえますよ！でも残念ながら「いいね」がもらえなくても気にしないでください。素敵な写真は必ず誰かに見てもらえています。



## 一眼レフにも挑戦

最後になりましたが、写真が好きになってきたら次は一眼レフカメラに挑戦してください。沢山の交換レンズが写真の楽しみをさらに大きくしてくれます。スマホよりもサイズはかなり大きくなりますが、スマホカメラにはできない接写や背景をぼかしたりすることができ、WiFiを使ってスマホに画像を転送することもできます。



## 使用する無料アプリ一覧

ワークショップで使用する無料アプリを下記に紹介します。ダウンロードしましたらいつでも使用できるよう登録を済ませてからご参加下さい。



- ・ManualShot!
- ・Pixlr
- ・Camera+ Free
- ・Snapseed
- ・Adobe Spark Post
- ・Trigraphs
- ・Instagram
- ・Canon Connect

